

和歌山県立  
田辺中学校  
学校だより



平成30年1月10日  
第168号

### 3学期始業式

## 学校長式辞

校長 中山 浩樹

新年を迎えて、気持ちを新たに、それぞれ願いや目標を立てたのではないかと思います。

私も年始になると、今年もこういう風に生きていければな、と思う言葉があります。それは、「上善如水（上善は水の如し）」という言葉です。「上善」とは、最も理想的な生き方という意味で、「上善如水」とは、「最も理想的な生き方をしたい」と願うならば、水のあり方に学べ」というものです。

人の理想的な生き方を表すのに、水のあり方をその例えとしてよく扱われますが、「上善如水」という言葉はその代表的なものの一つです。戦国時代の豊臣秀吉の名軍師であった黒田官兵衛は隠居後に自らの名前を、黒田如水と命名したことも知られています。

さて、「上善如水」の語源は、今から約2500年前の中国の『老子』

という有名な書物にある言葉です。それで、水には学ぶことができる三つの特長があります。

一つは、水は四角い器に入れば丸くなり、丸い器に入れば四角い形になります。器に逆らうことなく形を変える柔軟さがあります。つまり一つ目は、色んなものに対応できる柔軟さです。硬いものと硬いものがぶつかり合えば壊れるかもしれませんが、片方が柔らかいと壊れません。時には硬く、自分の主張を押し通すことも必要ですが、時には柔らかく、相手の主張を受け入れる寛容さも大切だということでしょう。

二つ目には、水は高いところから低いところに、自然と流れていきます。人には低いところに身をおくのは好まれません。水はそうではありません。謙虚な姿で、自分の能力や地位を誇示しようとしません。つまり二つ目は、謙虚さです。謙虚であることが、心穏かに日々を過ごすことができる秘訣かもしれません。そして三つ目は、

内に秘めた大いなるエネルギーです。



緩やかな水の流れは、人の心を癒す力を持つているし、また速い流れは、硬い岩をも砕くとても強い力も持っています。何より、水は命の源になつていきます。

このように、水は「柔軟さ」「謙虚さ」「秘めたエネルギー」の三つの特長をもっています。人もこのような特長を身につけることができれば、理想の生き方に近づけるのではないのでしょうか。参考にしてみてくださいと思います。

十二月二十一日、きれいな学校づくりに取り組むこと、学年間の交流を深めることを目的に、生徒会が主催して、全校生徒による田中クリニックを行いました。

日頃あまり十分に時間をかけることができない場所の掃除もでき、非常にきれいになりました。



### 第二回田中クリニック

## 1月行事予定

- 6日(土) 新春田辺長距離走大会、県強化練習会(卓球)
- 7日(日) 県強化練習会(卓球)
- 8日(月) Jr数学オリンピック
- 9日(火) 始業式
- 10日(水) 実力テスト
- 11日(木) SC来校
- 13日(土) 新春大会1日目(サッカー)
- 14日(日) 県アンサンブルコンテスト(吹奏楽)
- 18日(木) SC来校
- 20日(土) 県立中学校入学者選考適性検査
- 21日(日) (校内立入禁止)
- 25日(木) SC来校
- 26日(金) 大阪大学出前授業(3年)
- 27日(土) 紀南新人駅伝
- 28日(日) 田辺市民駅伝、田辺西牟婁支部オープン大会(卓球)

### \* 3学期の主な予定

- 2月27日(火) ~ 1日(木) 学年末考査
- 3月 1日(木) 田辺高等学校卒業式
- 12日(月) 高等学校学力検査(中学校休業日)
- 14日(水) 第10回田辺中学校卒業式
- 23日(金) 平成29年度修了式